

## ○エイズ・性感染症の予防に関する指導

領域	体育（保健）	学年	小6	単元名	感染症の予防
ねらい	病原体が主な要因となっておこる病気（以下 感染症）の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや、病原体に対する抵抗力を高めることが必要なことを理解することができる。（知識・理解）				
評価規準	感染症の予防には「病原体をなくす」「病原体のうつる道筋を断ち切る」「体の抵抗力を高める」ことが必要なことを理解している。（知識・理解）				
過程	時間	学習内容・活動			指導上の留意点
導入	5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでに学校を休む原因となった病気から、感染症について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病原体に感染しておこる病気。</li> <li>・病原体は空気や食べ物を通して体内に入ってくる人が多い。</li> <li>・体の中で病原体が増えると症状が出る。</li> </ul> </li> </ol>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査で、児童がこれまでかかった病気についてまとめておく。入院を要したような重い病気は提示しない。</li> <li>・法律で学校感染症として指定され、出席停止になる感染症が31種類もあることについて紹介する。</li> </ul>
展開	25	<p>課題：感染症を予防するためには、どうするとよいだろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 普段の生活の中で、感染症の予防のために気を付けていることや、知っていることを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール消毒や、まな板の殺菌→病原体をなくす。</li> <li>・手洗い・うがいや、マスク着用→病原体のうつる道筋を断ち切る。</li> <li>・栄養バランスの良い食事や、睡眠→体の抵抗力を高める。</li> </ul> </li> <li>3 インフルエンザを例に自分でできる予防を考え、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食前の手洗いうがいをしっかりやる。</li> <li>・流行期にはマスクを着用する。</li> <li>・食事・睡眠・運動を大切にする。</li> <li>・予防接種を受ける。</li> </ul> </li> </ol>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを準備し、気を付けていることや、知っていることを書き出せるようにする。</li> <li>・交流後、教科書の資料を見て、3つの視点から予防法を確認する。</li> <li>・教科書の資料を参考に、ワークシートにインフルエンザの予防法を書き出せるようにする。</li> <li>・感染症の予防には、大きく3つの予防方法があることを理解できるようにする。</li> </ul>
まとめ	15	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 本時で分かったことと、今後の生活に生かすことをまとめる。</li> </ol>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に生かすことでは、いつ、どこで、どんなことに気を付けて行うのかを具体的に書くように助言する。</li> </ul>
<p>&lt;配慮事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防を啓発する保健だよりを配付すると、学習したことを家庭でも話題にできる。</li> <li>・病気の予防について、全身を使った運動を日常的に行うことが、大人になってからの病気の予防の方法としても重要であることを理解できるようにする。</li> <li>・各運動領域において学習したことを基に日常的に運動に親しむことを関連付けるなど、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるよう配慮する。</li> </ul> <p>※感染症の学習の入口として、小学校においては身近な感染症を取り上げ、その予防について理解することを目的とする。</p>					

